

クラウド型プログラミングシステム「CES-Alpha Academic Cloud」利用基本規約

第1条（本サービスの提供、本規約の目的）

株式会社 CES-Alpha（以下「当社」といいます）は、クラウド型プログラミングシステム「CES-Alpha Academic Cloud」（以下「本サービス」といいます）をその利用者に提供するものとし、その利用に関する基本的な事項として、以下のとおり利用基本規約（以下「本規約」といいます）を定めます。

第2条（本規約の範囲・変更）

1. 当社は、本規約の変更が、利用者の一般の利益に適合するとき、または、契約をした目的に反せずかつ合理的なものであるときには、利用者の承諾を得ることなく、本規約の全部又は一部を変更（新設、廃止を含みます。以下同じ。）することができます。この場合における本サービスの提供条件等は、変更後の規約によります。
2. 当社は、前項に基づいて本規約を変更する場合、本規約を変更する旨、変更後の本規約の内容及び変更の効力発生日を当社のホームページ等で周知するものとします。
3. 第1項に基づく本規約の変更は、前項の周知以後に到来する効力発生日において、その効力が生じます。

第3条（定義）

この規約における各用語の定義は以下のとおりとします。

- ① 「利用者」とは、本規約に同意の上、当社所定の手続きに従って本サービスの利用を申し込み、当社がこれを承諾した個人プランの契約者、又はチームプランの管理責任者によって本サービスの利用を許可された者をいいます。
- ② 「個人プラン」とは、単一の利用者が本サービスを利用するための利用形態をいいます。
- ③ 「チームプラン」とは、複数の利用者が共同で本サービスを利用するための利用形態をいいます。
- ④ 「管理責任者」とは、個人プランの利用者本人、又はチームプランの利用者を代表して本サービスの管理および利用料の支払い等の責任を負う者をいいます。管理責任者は、その管理下にある利用者が本規約を遵守するよう監督する義務を負うものとします。
- ⑤ 「対象設備」とは、当社のソフトウェア、本サービスが構築されたクラウドサーバー、その他当社が本サービスの提供に用いる設備一切をいいます。

- ⑥ 「ACC (Academic Cloud Credit)」とは、本サービスが提供する計算資源 (CPU/GPU)・メモリ・ストレージ・JupyterLab 実行環境を統一的に換算・消費するための標準クレジット単位です。
- ⑦ 「利用料」とは、利用者が本サービスの利用にあたり当社に支払う対価の総称であり、ACC 購入代金、クラウドディスク購入代金、その他当社が料金表・申込画面・個別契約で定める料金を含みます。
- ⑧ 「料金表等」とは、当社ホームページ、申込画面、見積書、発注書、請求書その他当社が別途提示する料金・単位・有効期間等の条件をいいます。
- ⑨ 「消費係数」とは、仮想マシンのスペックその他当社が定める条件に応じて、利用時間その他の利用量を ACC 消費量に換算するための係数をいいます。
- ⑩ 「クラウドディスク」とは、本サービスにおいて利用者が利用する追加ストレージ（当社が別途定める永続ディスク等を含む）をいいます。
- ⑪ 「個別契約」とは、本規約に基づき当社と管理責任者（又は利用者）との間で別途締結される注文書・申込書・見積書・利用申込画面の条件等により成立する個別の契約をいいます。
- ⑫ 「クラウドストレージ」とは、利用者が仮想マシン停止中に作業データを保管するために、当社が本サービスとして提供する保存領域をいいます（容量・対象フォルダ等は運用ルールまたは料金表等に定めます）。
- ⑬ 「ACC の有効期間」とは、料金表等または購入時に適用されるパッケージ条件に定める ACC の利用可能期間をいいます。利用者が異なる条件のパッケージにより購入した ACC を複数保有する場合、当社は、購入時点の各パッケージ条件に従い、それぞれの ACC の有効期間を管理します。
- ⑭ 「クラウドディスクの有効期間」とは、料金表等または購入時の条件に定める当該クラウドディスクの利用可能期間をいいます。
- ⑮ 「全 ACC 失効日」とは、利用者が保有するすべての ACC について有効期間が満了し、有効な ACC が存在しなくなった日をいいます。

第4条 (契約の成立)

1. 本サービスの利用には、当社との間で、本規約を内容とする本サービスに係る契約（以下「利用契約」といいます）が成立することが必要です。
2. 利用者となろうとする者は、本規約の内容を確認・同意の上、当社の指定する方法によって申し込み、当社がこれを承諾した場合に利用契約が成立するものとします。
3. 当社は、申込者が以下の各号に該当する場合、申込みを承諾しないことがあります。
① 過去に本規約に違反したことがある場合
② 申込内容に虚偽、誤記、または記載漏れがある場合
③ 第5条（反社会的勢力の排除）の規定に抵触するおそれがあると当社が判断した場合
④ その他、本サービスの提供に支障が生じると当社が判断した場合

第5条（反社会的勢力の排除）

- 利用者および管理責任者は、自己が現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「反社会的勢力」といいます）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。
① 反社会的勢力が経営を支配していると認められる関係を有すること
② 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
③ 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に反社会的勢力を利用していると認められる関係を有すること
④ 反社会的勢力に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
⑤ 役員または経営に実質的に関与している者が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有すること
- 当社は、利用者または管理責任者が前項の表明・確約に違反したことが判明した場合、何らの催告を要せず、直ちに利用契約を解除することができるものとします。
- 前項に基づき契約を解除した場合、当社はこれにより利用者に生じた損害を賠償する責任を負わないものとします。

第6条（知的財産権）

- 本サービスに係るソフトウェア、マニュアル等の著作物、特許権、商標権、ノウハウその他一切の知的財産権は、当社又は当社に許諾を与えた第三者に帰属します。
- 利用者が本サービスを利用して作成したプログラム、データ等（以下「利用者作成コンテンツ」といいます）に関する知的財産権は、利用者に帰属します。
- 利用者は当社に対し、本サービスの提供、維持および改善（障害対応、品質向上、セキュリティ確保を含む）に必要な範囲で、利用者作成コンテンツを無償かつ非独占的に利用（複製、解析、改変、翻案を含む）する権利を許諾するものとします。
- 当社が利用者作成コンテンツをプロモーション目的で利用する場合、当社は事前に利用者（管理責任者）に通知し、書面または当社所定の方法により同意を得るものとします。ただし、個人が特定されない形で統計化・匿名化した情報を用いる場合はこの限りではありません。
- 前各項にかかわらず、当社は、利用者作成コンテンツに個人情報または利用者・第三者の秘密情報が含まれる場合、法令に基づく場合または第9条第4項

に定める場合を除き、当該内容を閲覧・利用しないよう合理的な措置を講じます。

第7条（利用環境等）

1. 本サービスの利用開始には、利用者にて初期設定を実施して頂く必要があります。
2. 利用者は、自己の責任と負担において、互換性のある機器、通信回線、セキュリティ環境等を維持するものとします。

第8条（本サービスの利用に関する責任と免責）

1. 利用者が本サービスを通じて行った行為により、他の利用者又は第三者に損害が生じた場合、利用者は自己の責任と費用において解決するものとし、当社は一切の責任を負いません。
2. 当社は、本サービスの内容の正確性、特定目的への適合性、有用性等について保証するものではありません。
3. 利用者が仮想マシンを使用する過程において、リソースの過剰使用（ディスク容量不足等）により生じたシステムエラー、処理停止、または動作不良について、当社は責任を負いません。
4. 前項の事由を含む本サービスの利用に起因して生じたデータの消失、破損については、利用者が自らバックアップ等の措置を講じるものとし、当社は復旧義務を負いません。
5. 利用者による本サービスの利用に関し、当社が利用者または第三者に対して損害賠償義務を負う場合、その賠償額は、原因となった事由が発生した直近6か月間に当社が当該利用者から受領した利用料を上限とします。
6. 前各項の規定にかかわらず、当社に故意又は重大な過失がある場合には、本条の免責規定および賠償額の制限規定は適用されないものとします。

第9条（個人情報およびデータの取扱い）

1. 利用者が本サービスにアップロードするデータ（個人情報を含む。以下「保管データ」といいます）の管理責任は利用者に帰属します。
2. 利用者は、保管データに含まれる個人情報について、個人情報保護法等の法令を遵守し、適切に取得・管理するものとします。
3. 本サービスにおける利用者データは、当社の提供する「クラウドストレージ」および／または利用者が購入した「クラウドディスク」のいずれか、または双方に保存され得ます。各保存場所の保管条件および保管期間は本条ならびに料金表等に従います。

4. 当社は、法令に基づく開示請求がある場合、またはシステムのメンテナンスや技術的不具合の解消に必要な範囲で、保管データを閲覧、保存、または第三者へ開示することがあります。
5. 仮想マシンの停止中に保管されるデータは、クラウドストレージに保管されます。クラウドストレージに保管される範囲、容量、対象フォルダその他の条件は、運用ルールまたは料金表等により定めます。
6. クラウドストレージにおけるデータ保管は、利用者が有効な ACC を保有している間、継続されます。全 ACC 失効日が到来した場合、当該日をもってクラウドストレージでのデータ保管は終了します。原則として全 ACC 失効日までにバックアップし、クラウドストレージ猶予期間内にバックアップを完了するものとします。
7. 当社は、全 ACC 失効日到来後、利用者によるデータバックアップのための猶予期間として、原則として 14 日間（以下「クラウドストレージ猶予期間」といいます）、クラウドストレージ上のデータを保持します。クラウドストレージ猶予期間経過後、当社は当該データを削除します。
8. 第 5 項から第 7 項までの定めはクラウドストレージに適用され、クラウドディスク上のデータの保管期間は第 16 条（クラウドディスク）および第 9 項から第 11 項までの定めに従います。
9. クラウドディスク上のデータの保管期間は、当該クラウドディスクの有効期間と同一とします。クラウドディスクの有効期間が満了した場合、当社は、料金表等に定めるところに従い、当該クラウドディスクの利用を停止し、必要に応じてデータを削除することができます。
10. 前項の削除に先立ち、当社は利用者に対し、料金表等または当社所定の方法により、バックアップのための猶予期間を設ける場合があります（以下「クラウドディスク猶予期間」といいます。クラウドディスク猶予期間の有無・期間は料金表等に定めます）。
11. 前項にかかわらず、法令に基づく保存義務がある場合、または障害対応・セキュリティ確保・権利保全その他合理的な必要がある場合、当社は必要な範囲でデータを保持することができます。
12. 利用者は、自己の責任で必要なデータのバックアップを行うものとします。当社は、クラウドストレージ猶予期間経過後またはクラウドディスク猶予期間経過後に削除されたデータについて一切責任を負いません。

第 10 条 （支払いの期限、方法、費用負担）

1. 管理責任者は、料金表等および個別契約に従い、本サービスの利用料を当社が指定する支払期限までに、銀行振込、クレジットカードまたはコンビニ支払いその他当社が指定する方法により支払うものとします。

- 利用料のうち、ACC 購入代金およびクラウドディスク購入代金（新規購入・延長を含む）は、当社が別途定めるタイミング（原則として購入時）で発生します。
- 振込手数料その他支払いに要する費用は、管理責任者の負担とします。

第 11 条 （通知）

当社が利用者の届け出た連絡用メールアドレスへの送信を行った時点で、利用者への通知が完了したものとみなします。

第 12 条 （禁止行為）

- 利用者は、以下の行為を行ってはなりません。
① 知的財産権、プライバシー権、名誉権その他の権利の侵害
② 本サービスのプログラムの改変、リバースエンジニアリング、不正アクセス
③ 対象設備に過度な負荷をかける行為（マイニング等、目的外の過剰利用を含む）
④ ID・パスワードの第三者への貸与・公開
⑤ 公序良俗に反するコンテンツの送受信
⑥ その他、本サービスの運営を妨げる不適切な行為
- 利用者が前項に違反した場合、当社は直ちに本サービスの提供を停止し、または利用契約を解除できるものとします。

第 13 条 （容認事項）

- 当社は、保守、停電、通信障害、天変地変、または第三者による攻撃等の不可抗力により、事前の通知なく本サービスの全部又は一部を一時停止することがあります。この場合、利用料の減免は行いません。
- 前項の停止、または本サービスの変更・廃止により利用者に生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。

第 14 条 （ACC の法的性質）

- ACC は、本サービス内で仮想マシン、クラウドディスクその他当社が指定する機能を利用するため消費される内部的なクレジット単位であり、法定通貨または暗号資産ではありません。
- ACC は換金できず、第三者への譲渡・担保設定その他処分はできません。
- 当社は、ACC が本サービスの利用に限定されるよう設計・運用するものとします。なお、関係法令上必要な手続または表示等が求められる場合、当社は法令に従い適切に対応します。

第 15 条 （ACC の購入と使用）

- 利用者は、料金表等に従い ACC を購入することにより、本サービスを利用できます。
- 利用者が仮想マシンを利用する場合、当社が料金表等で公開する消費係数および利用時間等に応じて ACC が消費されます。
- 利用者は、ACC を用いてクラウドディスクの利用期間延長その他当社が指定する機能を利用することができます。
- 利用者は、クラウドディスクを料金表等に従い直接購入することもできます。
- ACC の最小購入単位、有効期間、消費係数その他の条件は料金表等により定め、当社ホームページ等で公開します。
- 有効期間が満了した ACC は自動的に失効し、返金・補償の対象とはなりません。
- 利用契約が終了した場合（解約、解除を含む）、未使用の ACC は直ちに失効するものとします。
- システムメンテナンス等により本サービスが一時停止した場合の ACC の有効期間の取扱いは、料金表等または当社の告知に従うものとします。
- クラウドストレージにおけるデータ保管は ACC の有効期間と連動し、全 ACC 失効日到来後は第 9 条に定めるクラウドストレージ猶予期間経過後にクラウドストレージ上のデータが削除されます。

第 16 条（クラウドディスク）

- 利用者は、料金表等に従い、クラウドディスクを購入し、または延長することができます。
- クラウドディスク上のデータの保管期間は、当該クラウドディスクの有効期間と同一とします。
- 有効期間満了後の取扱い（停止、削除、猶予期間の有無・期間）は料金表等に定めます。

第 17 条（利用料および遅延損害金）

- 利用料は、購入時に発生します。
- 支払いを遅延した場合、管理責任者は年 14.6% の割合による遅延損害金を支払うものとします。

第 18 条（契約上の地位等の譲渡）

利用者は、当社の事前の書面による承諾なく、利用契約上の地位を第三者に譲渡することはできません。

第 19 条（一時利用停止）

利用料の支払いが確認できない場合、当社は本サービスの提供を一時停止できるものとします。当該停止により、既に購入された ACC その他の利用料の返金は行いません。

第 20 条 (利用者による解約)

1. 管理責任者は、当社所定の方法（管理画面、当社指定の申請フォームまたは書面）により、利用契約を解約することができます。
2. 解約の効力発生日、請求締日その他の取扱いは料金表等または個別契約の定めに従うものとします。
3. 解約により利用契約が終了した場合の ACC の取扱いは第 15 条に従い、当社は未使用 ACC の返金を行いません。
4. 解約後のデータの取扱いは第 9 条（個人情報およびデータの取扱い）に従います。

第 21 条 (契約解除)

1. 管理責任者または利用者が以下の各号に該当する場合、当社は無催告で利用契約を解除できます。 ① 支払停止、破産手続開始等の申立てがあったとき ② 第 12 条（禁止行為）または第 5 条（反社会勢力の排除）に違反したとき ③ 本サービスの運営に重大な支障をきたしたとき
2. その他、利用者が本規約に違反し、相当期間を定めた催告後も是正されない場合、当社は契約を解除できます。

第 22 条 (契約終了時の措置)

1. 個別契約で定める期間の満了、または解除等により利用契約が終了した場合、利用者は直ちに本サービスの利用を停止し、当社から提供された物品等を返還または廃棄するものとします。
2. 契約終了後のデータの取り扱いは、第 9 条（個人情報およびデータの取扱い）に従うものとします。

第 23 条 (秘密保持)

当社および利用者は、本サービスの利用に関して得た相手方の機密情報を、相手方の書面による承諾なく第三者に開示または漏洩してはなりません。

第 24 条 (準拠法・管轄裁判所)

1. 本規約の準拠法は日本法とします。

2. 本規約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 25 条 (協議事項)

本規約に定めのない事項については、当社および利用者間にて誠意をもって協議し、円満に解決を図るものとします。

2026 年 1 月 31 日制定

附則 この規約は 2026 年 2 月 1 日から施行されます。